

エマネージシステムの導入で ショールームの電気料金を 24%削減。

株式会社九南 様
宮城県宮崎市

自動車ディーラーのショールームは、
明るく、商談のしやすい雰囲気作りが求められます。
宮崎県の電気工事会社九南様は、エマネージシステムによって
イメージアップと省エネの両立を達成されました。

EM工事会社としてエマネージシステムをご提案

株式会社九南様の創業は戦後間もない1948年。宮崎県都城市を拠点に電気工事事業の長い歴史をお持ちで、近年は情報通信、情報設備の分野にも事業を展開されています。「エレクトリック・コミュニケーション」をテーマに、九南グループの中核企業として成長を続けられ、九州はもとより東京、大阪にも事業エリアを拡大されてきました。

また、リテール事業としては「住まいの困った、解決します!」をキャッチフレーズに一般家庭向けの電気

工事サービスを提供する「きゅうなん隊」が活動中。省エネ関連のお取り組みにも積極的で、エネルギー使用合理化事業者支援補助金を活用した空調、照明設備改修の実績も多く、企画から補助申請、施工まで豊富なノウハウを蓄積されています。パナソニックがエネマネビジネスをサポートする「EM工事会社制度」にもいち早くご登録いただき、昨年12月、宮崎日産自動車株式会社様の3店舗にエマネージシステムを導入されました。

ショールームの改修によって増エネになることが判明

今回、株式会社九南様がエマネージシステムをご提案された宮崎日産自動車株式会社様は宮崎県内に10店舗を展開されている日産自動車の販売会社様です。ショールームのイメージアップ改修に伴い、日産自動車が定めた仕様に基づき、間接照明の採用で従来よりも照度を上げる計画でしたが、九南様が改修に必要なダウンライト等の数を検討された結果、ショールームの消費電力が増えることが判明。メーカー主導の改修とはいえ、実際に光熱費を支払う宮崎日産自動車様のご負担が大きくなります。そこで照明器具を調光可能型へ変更してエマネージシステムで管理するプランが検討されました。

「きめ細かい調光コントロールで増エネをおさえるご提案をしました。なおかつ、補助金事業の対象となる省エネルギー率10%以上も可能となりました」と

九南様の執行役員リテール事業本部副本部長 黒木忠良様は語られます。



◀リテール事業本部
副本部長
黒木 忠良 様

店舗全体の照明と空調をエマネージシステムでコントロール

宮崎日産自動車株式会社様と検討された結果、2015年度改修予定の5店舗のうち、宮崎店、延岡店、大塚店の3店舗に補助金を活用したエマネージ

システムの導入が決定しました。省エネ効率を高めるために、ショールームだけでなく執務室、サービス工場までLED照明器具の導入を広く、店舗全体の照明と空調をエマネージシステムで管理されています。今回、取材で訪れた宮崎店様には一体型LEDベースライト iDシリーズウォールウォッシャータイプ・ワンコアダウンライト・ユニバーサルダウンライト(ショールーム)、iDシリーズ直付(ショールーム及び2階執務室)、LED高天井用照明器具(サービス工場)をご採用いただき、2015年12月施工が完了。2016年1月から本格的な運用が始まっています。

▶リテール事業本部
宮崎リテール課長
外山 直樹 様
エマネージ主装置盤。
外山様にはフル2線の
施工のしやすさも
ご評価いただいています。



▲ サービス工場内にもLED高天井用照明器具をご採用。

省エネとショールームの演出を両立

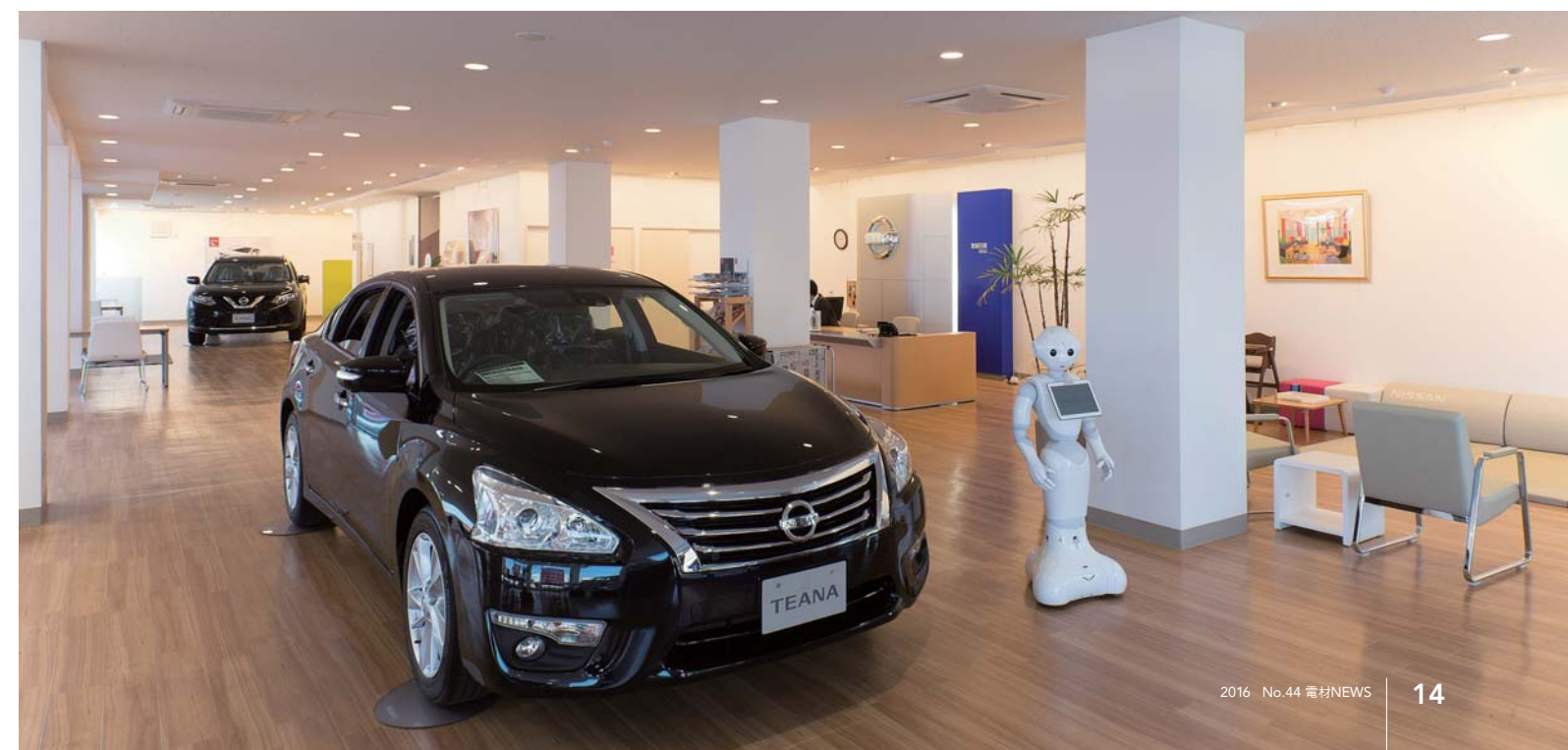
▶壁面を照射する
iDシリーズ
ウォールウォッシャータイプ



ショールームの調光プログラムは曜日や時間帯に合わせて緻密な設計がなされています。iDシリーズウォールウォッシャータイプとLEDダウンライトを組み合わせた壁面照明は、平日の昼間は照度を抑え、来客の多い週末に向けて照度を上げてい

く設定。最も来客の多い時間帯は商談テーブルを明るくするなど、きめ細かくプログラムされています。以前から黒木様は、他のショールームを見るたび「電気の使用過ぎではないか」と疑問を持たれていたとのこと。ただ煌々と照らすのではなく、営業中であることが認識できる明るさで、しかもショールームについていく照明の演出を実施された結果、当初の計画では増エネが予想された宮崎店の2月度の消費電力は前年比24%削減。期待以上の成果が出ました。

▼ LEDダウンライトと間接照明を合わせた宮崎日産自動車株式会社宮崎店内。iDシリーズウォールウォッシャータイプで壁面を照射し、「入りやすい」ショールームを演出。



情報の共有も大きなポイント

黒木様はエマネージシステムをご提案されたポイントとして、きめ細かい照明の制御が可能なる点を挙げられています。「省エネ改修のご提案で空調のデマンドコントロールは当然のことになっています。今回われわれが求めたものは、すべて自動で細かく照明を制御できるシステム。それを考えるとEMSシステムの中でもフル2線技術と連携したエマネージが最も優れていました」。加えて、電力消費データの共有ができる点が重要だったとのこと。「お客様には省エネによって利益を増やしていただきたい。そのためにわれわれが消費エネルギーのマネジメントをしていくことが大切になります。導入する際には、お客様にもその説明をしています」。エネルギー管理事業はひとつの工事で終わるのではなく、その後も継続していく事業です。例えば、LED照明器具の照明効率も年々進化しています。データの分析を通して費用対効果があると判断すれば、最適なタイミングでLEDユニットの交換をご提案することもできます。

また、エマネージシステム導入にあたり、リテール事



◀ 宮崎日産自動車株式会社
宮崎店

業本部宮崎リテール課長 外山直樹様からは「施工全般から機器の設定、データの取得方法など、パナソニックのサポートが大きかったです。とくに、これまでは空調をメインにしたデマンドコントロールが主で、演出的な効果も含めた照明の設定は初めてなので非常に助りました」と高い評価をいただきました。

長期的な視野で展開するエネマネビジネス

株式会社九南様には、プロジェクト事業として「エネマネ推進チーム」があり、今後もEM工事会社という点をPRしながらエマネージシステムのご提案を重ね、事業の柱のひとつに育てていきたいと構想されています。今、宮崎でも大手に押されて地場のスーパーマーケットは経営的に厳しい環境に置かれているところが多いそうで、そういった商業施設に対しても、省エネは利益向上と同じというお考えのもと、経営改善の観点からもエマネージシステムのご提案を行っていきたいということです。黒木様は「数年先を見据えた提

案が重要になります」とおっしゃいます。補助金の活用もつねに条件がクリアできるとは限らず、いきなり大きな投資は難しい施主様もおられます。まず全体の構想を作り、そこからエリアごと、設備ごとに細分化されたプランをご提案すれば、施主様も数年先までの事業計画を立てることができます。初期費用を抑えながら、初年度はLED照明器具の導入から始め、段階を踏んでエマネージシステム導入に至るトータル的な提案です。施主様と継続的な関係を築く。それがエネマネビジネスの本質と言えます。



◀ 株式会社九南
宮崎本店社屋

水銀灯が主流だったサービスステーション照明を、オールLED化。

真栄電設株式会社 様
福岡県福岡市

水銀灯並みの明るさを保ちながら、フレキシブルな角度調整が可能なLED照明。このたび、ガソリンスタンドでは先進的となるすべての照明のLED化が実現しました。

防爆電気工事の強みを生かしたガソリンスタンドへの施工

6年前に会社を設立された福岡市の真栄電設株式会社様は、可燃物があるため消防法等に対応する必要があるガソリンスタンドでの防爆電気工事という、特殊な電気工事のご経験を強みとされています。

一般の住宅や店舗では防爆電気工事は必要とされないため、ご経験をお持ちの電気工事会社様は少ないのが現状。ガソリンスタンドの他にも油槽所（タンクローリーに油を入れる施設）、プラント関係の電気工事など、大掛かりで専門的な工事を得意とされています。

代表取締役の坂口真也様と当事例の株式会社ENEOSウイング様とは、会社設立以前から約10年間のご協力関係があり、場所がガソリンスタンドであるだけに、そのフットワークの軽さを信頼の糧とし、九州一円の協力会社様とネットワークを構築。電気のブレーカーが落ちるといったトラブルがどこかのガソリンスタンドで起った際にも、素早い対応を可能にされています。このような長年積み重ねられた信頼関係が、このたびの納入につながっています。



▲ 作業ビット内のLED照明器具IDシリーズと
真栄電設株式会社代表取締役 坂口 真也 様



◀ 熊本県熊本市の
ENEOS 植木インター-TS
(トラックステーション)。



▲ 照明をLEDに全面リニューアルした熊本県熊本市のENEOS 植木インターTS (トラックステーション)。

キャノピー照明に標準タイプのLED 投光器を採用

このたびの全面リニューアルでご採用いただいたのは、給油スペースの屋根(キャノピー)に設置するLED投光器をはじめとするLED照明器具。ENEOSウイング様から真栄電設様へ、LED照明を検討したいのご相談がきっかけでした。真栄電設様としても、ガソリンスタンドの屋外にLED照明器具を設置されたのは初めてのことで、工事の際にはさまざまな工夫が行われました。

従来、ガソリンスタンドの照明は水銀灯が中心でしたが、5年ほど前より、さまざまなメーカーからLED照明器具が発売され、交換が進められていました。しかし、実際には海外製品の占める割合が多く、日本製に比べると品質が安定しないのが実状であり、真栄電設様は「ぜひ日本製を採用したい」との思いをお持ちだったそうで、パナソニック製品にご信頼をいただき、ご

採用に至りました。

このたびご採用いただいたLED投光器はオーダーメイドの特注品や、ガソリンスタンド専用品などではなく、投光器として使われる標準品であることがポイントで、価格や納期、メンテナンス性など標準品ならではのメリットがあります。また、角度調整ができる利点を応用し、キャノピーの天井内面や外枠の上部から給油ヤードを均等に照らすことが可能です。

パナソニックとしても、ガソリンスタンドへの納入は初めてでしたが、上記のメリットを感じていただけただ点がご採用の決め手となったようです。設置後、ENEOSウイング様からは、思っていた以上に明るく、専用品でなくても十分であるご評価いただいております。



◀自由に角度調整が可能なLED投光器。

- ▶(左) 洗車ヤードには防水仕様のLED照明iDシリーズを設置。
- ▶(右) 防水・防湿機能を備えた防犯カメラ。



パナソニック製品をワンストップでご提案



▲ USBを直接接続可能なコンセント。

このたびのリニューアルでは、キャノピーのLED投光器をきっかけに、坂口様の発案で多数のパナソニック製品をご採用いただいております。

「電気工事会社から見ると、パナソニック製の照明器具は設置しやすい」

とサービスルーム、整備作業ピット等、室内にもLED照明器具をご採用いただき、空間を一新させました。

その他にも、パッケージエアコン、換気扇、防犯カメラ、USBを直接接続して充電が行えるUSBコンセントなど、多彩な設備でリニューアルが完成いたしました。

「パナソニック製品は国内の専用品に比べれば、価格的にメリットがあり、製品としての安心感もある。ワンストップでの対応もよかった」とご評価いただきました。

自分がやったという達成感が電気工事の醍醐味



▶ 真栄電設株式会社 代表取締役 坂口 真也 様

工事を行われた真栄電設株式会社の坂口真也様は「今後、ガソリンスタンドにおけるLED照明器具へのリニューアルは増えていくと思う。他への水平展開も視野に入れながら積極的に取り組んでいきたい」と、初のガソリンスタンドのLED化工事に、しっかりと手応えを感じられている様子。

プロの意見を聞きたいと思っているお客様に応えられるように、メーカーの展示会に足を運ぶなどアンテナを立て、新しい製品の情報を常に入手していきたいとのことでした。

お施主様が語る

ご採用のPOINT



▶ 株式会社 ENEOSウイング 営業本部SS販売部 副部長 谷崎 浩二 様

現在のガソリンスタンドは、セルフサービス対応・待合空間の充実・女性顧客への対応といったトレンドに合わせた最新設備の導入、コストの削減、水銀灯に集まる虫対策など、さまざまな課題を抱えています。

今回、初の試みとなるLED照明器具を採用し、これらの課題の改善を図ることができました。また、パナソニック製品の品質やアフター対応といった面での信頼も、採用決定のポイントとなりました。